

2015 年度 応用統計学会 理事会 議事要録

2015 年度第 1 回目理事会 (メールによる)

期間：2015 年 4 月 6 日～4 月 13 日

議題：

審議事項：

1. 入退会の承認
8 名の入会, 14 名の退会を承認した.

2015 年度第 2 回目理事会 (メールによる)

期間：2015 年 4 月 12 日～4 月 14 日

議題：

審議事項：

1. 「第 3 回データビジネス創造コンテスト」からの後援依頼
標記イベントの後援を承認した.

2015 年度第 3 回目理事会 (メールによる)

期間：2015 年 4 月 17 日～4 月 23 日

議題：

審議事項：

1. 優秀論文賞の決定
優秀論文賞として以下を承認した.
応用統計学 42 巻, 佐藤健一*, 富田哲治*, 「混合効果モデルを用いたセミパラメトリックな変化係数の推測について」, (*が受賞者)

2015 年度第 4 回目理事会 (メールによる)

期間：2015 年 4 月 25 日～4 月 30 日

議題：

審議事項：

1. 「日本シミュレーション&ゲーミング学会大会」からの後援依頼
標記イベントの後援を承認した.

2015 年度第 5 回目理事会 (メールによる)

期間：2015 年 5 月 15 日～5 月 18 日

議題：

審議事項：

1. 2015 年度事業計画と予算について
対面理事会で諮る事業計画と予算について審議した.

2015 年度第 6 回目理事会 (対面による)

日時：2015 年 5 月 23 日 9:30～11:00

場所：統計数理研究所 会議室 3 (D207)

出席：樋口知之, 水田正弘, 中村永友, 酒折文武, 本橋永至, 井元清哉, 佐藤忠彦, 福水健次, 藤澤洋徳, 安宅和人, 永田靖, 川崎茂, 大西俊郎 (13 名)

欠席：鈴木督久, 中西寛子 (2 名)

議題：

審議事項：

1. 2015 年度事業報告案
庶務理事が資料に基づき, 概況, 総会の開催, 評議員会の開催, 理事会の開催, 機関誌の発行状況, 学会論文賞の授与, 年会の開催, 統計関連連合大会の共催, 関連学会との後援・共済事業および協力・協調, 大内賞候補者の推薦, 広報媒体 (ホームページ・メーリングリスト) の充実, について説明した. 各項目の日付, 数字, 開催回数, 役職の修正を何点か行い, 承認された.

後援・共済事業の記録を残し, ウェブページで広報することが確認された.

広報理事より, 広報すべき情報のメーリングリストとウェブページでの広報の仕方について, 従来通りの方法で行うことの確認を行った.

2. 2015 年度決算報告案
会計理事より資料に基づいて説明が行われた. また, 椿 事, 渡辺 監事により会計監査されたことも報告された.
3. 2015 年度事業計画案

庶務理事が資料に基づき, 機関誌の発行, 応用統計学会論文賞等の授与, 年会の開催, 応用統計学フロンティアセミナーの開催, 統計関連学会連

合大会での企画セッション，研究集会，学会員への情報公開，広報活動，関係学会等との協調，理事会・評議員会・総会の開催，応用統計学会役員選挙，について説明された，了承された。

4. 2015 年度予算案

会計理事が資料に基づいて説明し，編集費，印刷費の変更を行い，承認された。

5. その他

会費未納者への対応（未納後の連絡・会誌送付停止時期，除名と除籍の扱い）について議論した。

さらにシニア会員，名誉会員の創設のために，継続して議論することが確認された。

魅力的な会誌とするために，学会の方向性やターゲットを定め，論文種類の多様化をはかる方向性で継続議論することが確認された。

2015 年度第 7 回目理事会（メールによる）

期間：2015 年 6 月 5 日～6 月 12 日

議題：

審議事項：

1. 入退会の承認

13 名の入会，2 名の退会を承認した。

2015 年度第 8 回目理事会（メールによる）

期間：2015 年 6 月 29 日～7 月 2 日

議題：

審議事項：

1. 入会の承認

2 名の入会を承認した。

2. 第 67 回白石記念講座 「新しい世紀の形態計

量学 ～数学と鉄鋼研究のコラボレーション～

からの協賛依頼

標記イベントの協賛を承認した。

2015 年度第 9 回目理事会（メールによる）

期間：2015 年 7 月 8 日～7 月 14 日

議題：

審議事項：

1. 大内賞の推薦について

本学会からの大内賞候補者として，馬場康維氏（統計数理研究所名誉教授）を推薦することとした。

2. 同志社大学「心理・行動・生体情報融合データ

科学シンポジウム」からの後援依頼

標記イベントの後援を承認した。

2015 年度第 10 回目理事会（メールによる）

期間：2015 年 7 月 22 日～7 月 23 日

議題：

審議事項：

1. 日本 TRIZ シンポジウムへの協賛依頼

標記イベントの協賛を承認した。

2015 年度第 11 回目理事会（メールによる）

期間：2015 年 8 月 4 日～8 月 10 日

議題：

審議事項：

1. 第 18 回情報論的学習理論ワークショップ

(IBIS2015)からの協賛依頼

標記イベントの協賛を承認した。

2015 年度第 12 回目理事会（対面による）

日時：2015 年 9 月 8 日 12:00～13:00

場所：岡山大学 津島キャンパス一般教育棟 2F

C23 教室

出席：樋口知之，水田正弘，中村永友，酒折文武，

本橋永至，大西俊郎，井元清哉，佐藤忠彦，福

水健次，中西寛子，藤澤洋徳，永田靖（12名）

欠席：鈴木督久，安宅和人，川崎 茂（3名，委任

状3通）

議題：

審議事項：

1. 会費滞納者の扱い

資料1に基づき、庶務理事から説明が行われた。毎年3月はじめに会費納付の通知(振込用紙送付)をしているが、年度が明けて5月まで、あるいはそれ以前の年度の納付がない場合に対する対処について、確認事項と提案事項を説明しながら議事を進めた。

(1) 会員資格喪失の種別(確認事項)

会則には退会と除籍しかないので、退会は「当該年度の会費を納めた年度内に退会手続きをとる。連絡不能(死亡、失踪宣告含む)」場合とし、除籍は「一定期間(2~3年以上)の会費が未納で、それを支払う意思がない場合」を確認した。

(2) 滞納期間による行動(提案事項)

提案に対して文言の調整を行った。1年未満の滞納で「5~6月にメールで催促、9~10月に請求書再送付」、1年経過した場合は「納付催促」、2年経過で「納付催促、雑誌を送付しない」、2年から3年経過で「納付催促、退会、除籍の検討を理事会で行う」と修正し、決議された。

(3) 未納者への連絡と意思確認(確認事項)

未納者への連絡は、住所、メールアドレス等が事務局で把握できる場合は都度連絡し、理事会や評議員会等で議題になったときは(次項)、理事・評議員等の出席者の直接間接の知り合いを通じて連絡することを確認した。(また、学会送付ラベルに学会費納付年度を明記し、本人が確認できるようにする。)

(4) 理事会・評議員会の対応(確認)

定期的に対面理事会や評議員会等で未納者リストを確認することを申し合わせた。

(5) 明文化について(提案)

会費滞納者の扱いは「理事会議事録」として残すことを提案し、了承された。

2. シニア会員、名誉会員の創設

庶務理事が学会に多大な寄与のある会員の退会を防ぐため、シニア会員と名誉会員を設けることを資料に基づき説明した。シニア会員は「満65歳以上、あるいは満60歳以上で定職を持たない会

員。会費は半額。会誌は送付しない。理事会で審議する。」、名誉会員は「満65歳以上。本学会に貢献があった会員。正会員10名以上の推薦。会費なし。会誌は送付しない。」とすることが承認された。また2016年5月の評議員会、総会を経て会則として制定することを確認した。

3. 学会誌の方向性

編集担当理事から2015年度第3号の進捗状況の説明があった。また、今後の学会誌の方向性を決定し、できる限り早く行動に移すことが確認された。

(1) 発行媒体 紙媒体と電子媒体の双方の長所を生かす(雑誌の格式、速報性、等々)

(2) 定期的な特集号 例えば、年間3号のうち1号は特集号として、最新の話題や一定の基本的な学習ができるようにする。さらにセミナー開催の講演内容を記事化するなど。

(3) 論文・記事の多様化...学会誌の特色のアピール 原著論文以外に、応用、ケーススタディ、等々の敷居の高さをいくつか設定する。

4. 連合主導の英語論文の刊行

会長より、統計関連学会連合が主導する英語論文誌の発行について説明があった。本学会としては英文誌を持たないため、その動向を見守る事を確認した。

2015年度第13回目理事会(メールによる)

期間:2015年9月18日~9月24日

議題:

審議事項:

1. 統計教育大学間連携ネットワーク「論より統計! データサイエンスが社会の課題を解決する」シンポジウムからの後援依頼
標記イベントの後援を承認した。

2015年度第14回目理事会(メールによる)

期間:2015年10月2日~10月8日

議題：

審議事項：

1. 入退会の承認
2名の入会，4名の退会を承認した。

2015年度第15回目理事会（メールによる）

期間：2015年10月9日～10月16日

議題：

審議事項：

1. 滋賀大学データサイエンス学部設置にあたっての要望書の提出
要望書の内容の吟味と推敲を行った。

2015年度第16回目理事会（メールによる）

期間：2015年10月23日～10月27日

議題：

審議事項：

1. 「一般社団法人データサイエンティスト協会 2nd シンポジウム～実務者が集うデータサイエンスの最前線～」からの後援依頼
標記イベントの後援を承認した。

2015年度第17回理事会（対面による）

日時：2015年10月31日 12:00～13:00

場所：統計数理研究所 八重洲サテライト

出席：樋口知之，水田正弘，中村永友，中西寛子，大西俊郎，井元清哉，佐藤忠彦，藤澤洋徳，鈴木督久，安宅和人，永田 靖（11名）

欠席：酒折文武，本橋永至，川崎 茂，福水健次（4名，委任状4通）

議題：

審議事項：

1. 学会誌の今後の方向性
今後の学会ありかた，および学会誌の方向性や展望について，フリーディスカッションをした。

2015年度第18回目理事会（メールによる）

期間：2015年11月6日～11月13日

議題：

審議事項：

1. 入会の承認
1名の入会を承認した。
2. 「情報処理学会 IT フォーラム：ビッグデータ活用実務フォーラム 機械学習とデータマイニングの最前線 500人大集会：そのツールと応用」からの協賛依頼
標記イベントの協賛を承認した。

2015年度第19回目理事会（メールによる）

期間：2015年11月17日～11月24日

議題：

審議事項：

1. 「ソフトウェアジャパン 2016」からの協賛依頼
標記イベントの協賛を承認した。

2015年度第20回目理事会（メールによる）

期間：2015年12月14日～12月21日

議題：

審議事項：

1. 入会と退会の承認
2名の入会，1名の退会を承認した。

2015年度第21回目理事会（メールによる）

期間：2015年12月15日～12月21日

議題：

審議事項：

1. 第4回「データビジネス創造コンテスト」からの後援依頼
標記イベントの後援を承認した。

2015 年度第 22 回目理事会 (メールによる)

期間：2016 年 1 月 13 日～1 月 20 日

議題：

審議事項：

1. 「第 5 回科学技術教育フォーラム」への共催からの共催依頼
標記イベントの共催を承認した。
2. 入会と退会の承認
1 名の入会，1 名の退会を承認した。

2015 年度第 23 回目理事会 (メールによる)

期間：2016 年 3 月 4 日～3 月 7 日

議題：

審議事項：

1. 入会の承認
3 名の入会を承認した。

2015 年度第 24 回目理事会 (対面による)

日時：2016 年 3 月 17 日 (木) 11:00-13:00

場所：統計数理研究所 D202

出席：樋口知之，中村永友，酒折文武，本橋永至，井元清哉，佐藤忠彦，福水健次，藤澤洋徳，鈴木督久，安宅和人，永田靖，中西寛子，川崎茂，永田靖 (13 名)

委任状：水田正弘，大西俊郎 (2 名)

議題：

審議事項：

1. 評議員会，総会に提出する議案・資料について
・2015 年度事業報告
庶務理事より資料の概略の説明があり，修正や追加があれば，後日連絡をいただくよう依頼した。
・シニア会員，名誉会員に関する会則改正
資料に基づき会則変更の説明が行われた。名誉会員に学会誌を送付するように変更し，評議員会・総会で議案とすることが確認された。
2. 次年度の学会事務委託費について
庶務理事より現行の学会事務委託費支払いの経

緯が説明された。議論の結果，現状維持で交渉することとした。

3. 学会ウェブサイトのバナー広告について

ウェブページに賛助会員リストのページを作成することとなった。それと同時にリンク先に関する約束事を作成することとなった。

4. 統計家の行動基準 (倫理綱領) の策定について

資料に基づき川崎理事から説明があり，議論された。連合としてコアとなる行動規範を作成してもらい，その上で本学会固有のものを考えることとなった。

5. 会員の所属の記録について

被選挙人名簿の所属先があまりにも空欄が多いことから，名簿を再度構築する方向が確認された。名簿のデータベースを再度作る場合の経費の調査を行うこととなった。(会議後の調査結果：学会が管理する名簿にはほとんどの会員の所属が記録されているため，被選挙人名簿にそれを反映させることは可能であることがわかった。原因は学会からの連絡を自宅へ希望している場合，所属が空欄になっていた。)

6. 学会誌について

別紙資料に基づき，学会賞のスケジュール，今後の特集，論文の集まり状況について，井元編集理事から説明があった。

(1) 第 44 巻 3 号の印刷・配送が 2016 年 3 月になり，優秀論文賞等の選定の遅れが報告された。表彰式は秋の連合大会時に行うことが承認された

(2) 次年度の特集号を医学統計系で組むことの報告があった。またフロンティアセミナーの講演内容かそれに準ずる内容で，第 44 巻と同様にフォーラムなどの記事・論文として掲載予定であることが報告された。

(3) 論文の集まりの状況がそれほど良くないことについて報告があった。

報告事項：

1. フロンティアセミナーの開催について

福水企画理事から，「データ駆動型科学の最前線」というタイトルで，岡田真人氏 (東京大学・新領域

創成科学研究科 教授), 津田宏治氏 (東京大学・新領域創成科学研究科, 教授), 上田修功氏 (NTT・コミュニケーション科学基礎研究所) 3 名に講演の依頼をして承諾が得られていることが報告された。